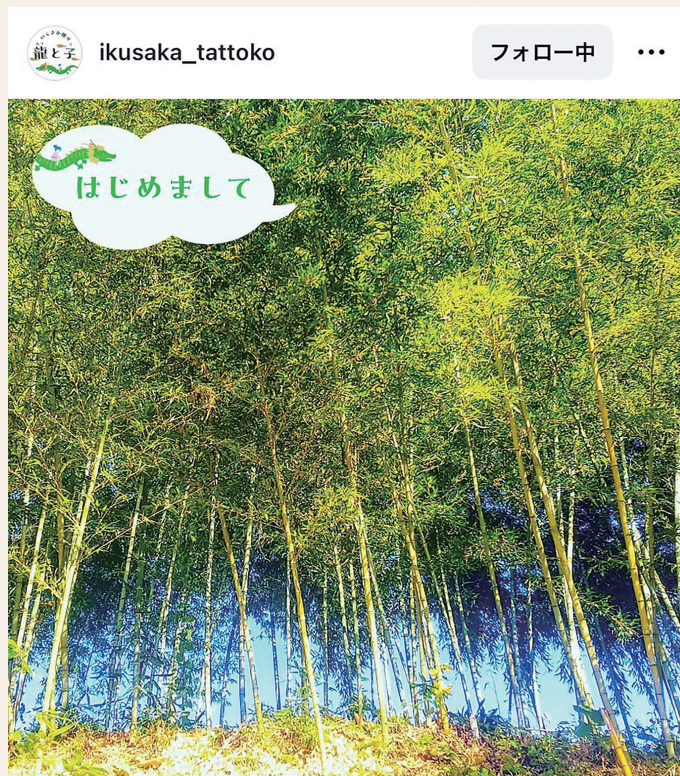




♡ 8 〇 〇 〇 〇

いいね！: gachastagram.11、他

ikusaka_tattoko ·

生坂村では、森林整備事業の一環として、竹林の間伐作業を行っています。

11月末には生坂小学校2年生の生徒に、地域と触れ合う生活科の授業『間伐作業と竹のおもちゃづくり』を体験してもらい、地域の方は「小さい子達が上へ手に竹を切っていたよ。」と嬉しそうに微笑んでいました。

間伐後の竹林は、太陽の光が差し込み、風が通って竹が静かに揺れ...美しい眺めでした。

#ゼロカーボン事務局

#いくさか便り

#龍と子

#竹

#竹林

#森林整備事業

#間伐

#小学生

#どうぞらくさか

#いいずらくさか

#どうぞらくさか

#生坂村

#東筑摩郡

#長野県

#脱炭素先行地域

#ゼロカーボン

#カーボンニュートラル

12月3日 · 翻訳を見る

Instagramでは
その他投稿も
ご覧いただけますので、
是非フォロー
よろしくお願いします！

Instagram



WEB



INTERVIEW

「親子(星野家)」

Q1. 生坂村のどこが好き？

個々の家庭だけでなく、地域で子どもたちを見守り、育てている空気が好きです。我が家の子どもも地域の大人たちに馴染んでいて、行事にも楽しく参加しています。自分が生まれ育った都市部では失われてしまったような環境で、どこか懐かしい感じがします。

Q2. 親から子へ、この村で未来に残したいものなどありますか？

自分の子どもたちには、ぶどう園で過ごした記憶が残ればと思っています。また、子どもたちの世代になっても、生坂がぶどうの産地であって欲しいと思います。気候変動の影響で、生坂ではぶどうがうまく育たない、そんな未来であって欲しくないです。

Q3. 本事業に期待していることは？

新たな雇用の方が生まれることと、気候変動対策について少しでも意識が高まることを期待します。生坂村という小さな山村で踏み出す小さな一歩が、国を動かし、世界を動かすような気候変動対策の大きな一歩へとつながることを期待します。

EDITOR'S NOTE

編集後記

今年もあっという間に終わろうとしています。最近、テレビや新聞で生坂のことよく目にするよ、素晴らしいねと言われます。道の駅、かあさん家、ぶどう農家さんを始め生坂村で活躍する人々の熱量は遠くまで届いているようです。村民の皆さまに大いなる感謝の気持ちとご多幸を祈念して今年最後のご挨拶とさせていただきます。

星野 亜紀子
(ゼロカーボン事務局)

〔発行元〕生坂村 〔編集〕いくさかゼロカーボン事務局
〔電話〕050-3354-7715 〔メール〕info@green-ikusaka.org
〔住所〕生坂村5471-8(旧窪田商店) 〔平日〕9:00~17:00



TOPICS

○PPA事業に関するお知らせ ○第1回勉強会の報告
○Instagram 竹林の間伐作業 ○Interview 親子



PPA事業に関するお知らせ

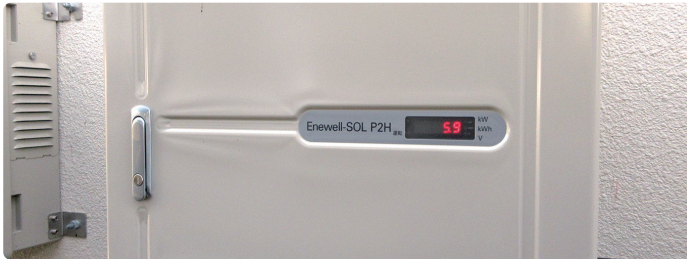
生坂村役場庁舎で太陽光発電による再生可能エネルギー（電気）の供給が始まりました。
ご加入等のお問い合わせも引き続き受け付けております。

- ・ 太陽光パネル枚数 105枚
- ・ 太陽光パネル最大出力 45.675kW
- ・ パワーコンディショナー 4台



お問い合わせ先

〔契約に関すること〕	株式会社いくさかてらす	Tel 0263-69-2388
〔設置工事等に関すること〕	平林建設株式会社	Tel 0263-69-3121
〔脱炭素事業に関すること〕	いくさかゼロカーボン事務局	Tel 050-3354-7715



News 龍と子ウェブサイトにてQAを開設しました！

生坂村ではこれまで全31回にわたり「脱炭素事業に関する説明会」を各地区で行って参りました。その際にいただいた質問事項とその回答は配布している龍と子に掲載されておりますが、情報を集約しウェブサイト上でご確認いただけるようになりました。ぜひ、ご覧ください。



ikusaka-tattoko.jp/project/question/

第1回目の勉強会が開催されました！

11月24日（日）に村民会館で第1回目の勉強会が開催されました。今回は生坂村でも開始される「太陽光発電（PPA）」について知ろう」と題され、講師に株式会社E-konzal主任研究員 渡邊福太郎氏をお招きしました。はじめに「なぜ再生可能エネルギーが注目されているのか？」から始まり、太陽光発電の基礎知識と導入の仕組み・太陽光発電に関わる豆知識・地域に根ざした太陽光発電の導入のために・中山間地域から考えるエネルギーの選択と約1時間にわたる内容でお話いただきました。その後、約30分間で質疑応答を行い参加者（15名参加）の皆さんにはアンケートをお願いいたしました。

アンケート結果や質疑応答の内容から、太陽光発電（PPA）といった仕組みの理解もそうですが、メンテナンスや廃棄問題、屋根への設置可否の診断といった実務的な観点への関心が高く、これからも本村では皆さまから寄せられる疑問への解消を行っていくための勉強会を重ねる必要性を感じました。参加しなかったのに日程の都合で勉強会に参加いただけなかった方々への対応も現在、検討中です。次回以降も、より多くの村民のご参加をお願い申し上げます。

当日配布された勉強会資料は、ゼロカーボン事務局に置いてあります。ご興味のある方は、ゼロカーボン事務局にいらしてください。また、龍と子ウェブサイトにも載せる予定です。



当日勉強した内容から一部抜粋

Q 太陽光発電の導入方法は？

A 主に次の2つ。自己所有と第三者所有で、大きくは初期費用の有無と所有権に違いがある。いくさかてらすは第三者所有（PPA）である。

Q 第三者所有とは？

A 第三者が設備を保有しサービスを提供する契約形態で「PPA（電力販売契約）」や「リース契約」「屋根貸し」などがある。「PPA」は使用した電力量に応じて使用料がかかる。「リース」は定額で設備費用を支払う。「屋根貸し」は建物の屋根・屋上を発電事業者に貸すこと（賃料収入がある）で

ある。いずれも基本的には、契約期間中の所有権は事業者側。多くの場合、初期費用は不要である。

Q 太陽光発電パネルに有害物質が含まれるのか？

A 他国では、一部有害物質が含まれているものもあるが、日本で普及しているものについては、有害物質はほぼない。

Q 太陽光発電からの電磁波は？

A パワーコンディショナから発生する電磁波は、蛍光灯スタンドやテレビと同程度。